

私達にご相談下さい！新協建設工業(株)石川支店です！

\\ お住まいの耐震性能を診断する方法をご紹介します //

① 静的耐震診断

図面、目視検査で耐力壁や劣化度を確認し、計算によって耐震性能を診断します。
(地盤の要素は含まれません)
一般的に行われる方法で公的補助金等を使う場合に用いられます。
費用 200㎡以下 220,000円(税込)
※条件により変わります。

静的耐震診断の流れ

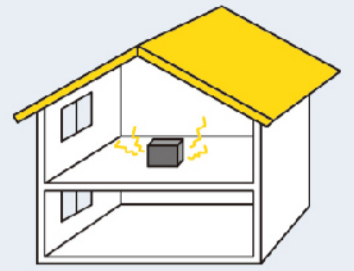
お住まいの劣化度、現存の耐震壁を
現地目視検査にて確認し図面を作成

条件を入力し耐震診断ソフトにて
評点を算出(ここまでが耐震診断)

算出した評点を基に補強計画(耐震設計)
費用別途 660,000円~(税込 監理料含む)

② 動的耐震診断

機械により建物に微振動をあたえて、その振動特性により耐震性能を解析します。
地盤の要素も含んだ結果が得られ、劣化度、弱点が判ります。
目安となる耐震診断です。
費用 176,000円(税込)
※目標とする強度によって変わります。



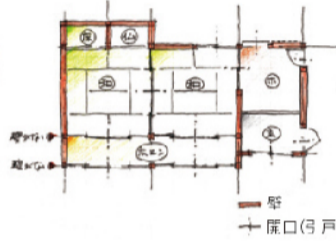
振動機がブルブルと振動しどこがどれくらい揺れやすいかを判断します。

耐震工事のポイント



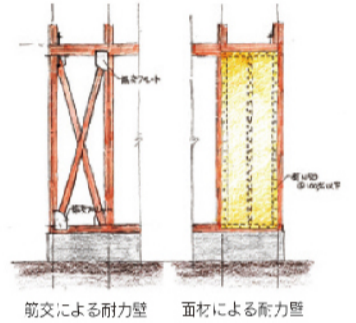
① 耐震壁の位置

バランスよく配置されていますでしょうか？
建具ばかりで「壁がない」ということがあります。
強いところ、弱いところのバランスが重要です。



③ 耐力壁は「筋交い」「面材」

筋交いは地震時圧縮力を受けたとき座屈しようとして内側から壁を破壊したりします。
接合部は強度に合わせた金物で固定されているかが重要です。座屈の面からも最近では合板のような面材で耐力壁を構成させることが増えています。



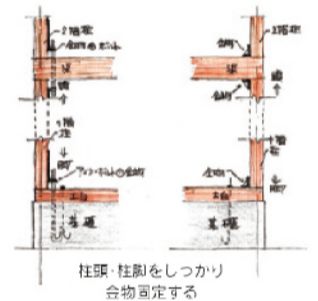
② 2階を支える柱、壁の重要性

バランスよく配置されていますでしょうか？
例えば2階が1階からはね出していて、その下に壁、柱がないということがあります。
荷重のバランスもさることながら、2階耐力壁下にちゃんと耐力壁があることが理想的です。



④ 基礎、土台と柱を緊結

大きな地震力がかかったときに抜けようとする力が働きます。抜けた柱が元のほぞ穴に戻らず倒壊につながることも多いようです。基礎、土台と柱が確り金物で固定されているかがとても重要です。2階の柱、小屋梁との接合部も同様です。



2022~2023 新協の新築工事紹介

M邸 設計:南堀部安嗣建築設計事務所



N邸 設計:新協建設工業(株)石川支店



住まいの些細な
困りごとや
修繕などお気軽に
ご相談ください！

住まいに関するご相談随時承ります。
下記までご連絡ください。

我が家の断熱診断しませんか！

寒い時期は我が家の断熱を調べるチャンス！弊社ではサーモグラフィという温度を画像化するカメラを使いお部屋の温度分布を確認し問題点を把握いたします。ご興味ございましたらご連絡ください。



(担当:武田まで)

\\ 一緒に仕事しませんか! / 技術社員募集中

- 現場施工管理者 1名
- 設計スタッフ 1名

・年齢35歳まで ・給与等委細面談 ・資格手当あり
ご興味ございましたらご連絡ください。(担当:武田まで)

